



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION **9** ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

JAPAN WEST

地域奉仕・環境事業通信 第2号

自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよう。

Creating opportunities and accepting opportunities
for change.

2016年8月12日

2016～2017年度 地域奉仕・環境事業主任

福島 貴志(熊本スピリットクラブ)

「やっと晃（ひかる）を家に連れて帰ることができる」。母は絞り出すような声で語った。8月11日に、熊本地震で唯一、行方不明になっている熊本県阿蘇市の大学生大和晃さんの可能性がある遺体の一部が4カ月ぶりに、見つかりました。「二次災害の危険がある」と行政側が搜索に二の足を踏む中、「息子を捜し出す」と手掛かりを求め、現場に通い続けられました。少しずつ、復興に向けて動き出している熊本。明るいニュースも増えてきているものの、その中で取り残されている方々もたくさんおられます。大和晃さんのご家族も4か月経ってやっと一歩を踏み出す事ができたのではないかと思います。熊本YMCAが、運営している益城町体育館の避難所にはまだ500名を超える方々が避難生活を強いられています。熊本YMCAの息の長い寄り添った支援。多くのボランティアに支えられ、特に炊き出しボランティアの暖かい支援は、避難所での健康的な生活に欠かせないものになっています。ありがとうございます。

一方、被災地障害者支援センターくまもとには、毎日50件以上のSOSが届いています。災害により、障害者の生活は困窮を極めています。まだまだ、復興への道のりは厳しいというのが現状です。いわゆる健常者にすれば、復興が進んでいるものの、障がい者にとっては、まだまだその道のりは遠く、彼らが本当の意味で復興を感じた時が、本当の意味での復興であると思います。どうぞ、各クラブ、各部において、熊本支援に関して考える機会をつくって頂ければ幸いです。

相模原市緑区の障害者施設「津久井やまゆり園」で入居者19人が刺殺された事件。多くの人々に衝撃を与えました。薬物依存、精神障害による措置入院など報道が流れていますが、私は、間違った思想による犯行というより、テロだという認識を持って報道を注視しています。戦後71年を迎える終戦記念日を忘れることなく、平和への祈りを全てのワイズメンズクラブメンバーと共に捧げ、命の尊さを多くの方々にこの事件を機に伝えていく事ができればと願っています。この世にいない人はいないという事を…

一人一人がその人らしく生きる権利を持っていることを…。

地域奉仕・環境ニュース

京都ワイズメンズクラブ 5月29日（ブリテンよりの情報）

京野菜マルシェ&熊本地震被災者支援募金箱設置

小銭以外にも千円札が数枚入っていたそうです。 YMCA 寄付金積立金 32,752円

ご奉仕ありがとうございます。

大阪茨木ワイズメンズクラブ 7月30日・31日（ブリテンよりの情報）

茨木フェスティバル

たこ焼きとタコセン販売。リーダーとリーダーOBと協働でのご奉仕ありがとうございました。